

科目名	ブライダル概論			単位数	1	科目コード		
授業形態	講義			対象学生	1年次	開設期	半期	
区分	必修			開設時期	前期	教員実務経験対象		
授業概要 (目的、目標とする資格、検定等)	現在の日本における結婚の定義、歴史や文化を知り、ブライダルとは何か？どんな意味・意義があるのか？を学ぶ。また、プランナーとしてお客様と対応に当たり必要なブライダルの基礎知識や昨今のブライダル業界の傾向や地域性による違い等を学び、対応力を身につける。							
授業の一般目標	社会人としての一般常識として冠婚葬祭の知識を身につけ、人生の通過儀礼を滞りなく実行でき、業界で働くための知識を身に付ける。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 冠婚葬祭とは何かについて説明できる。 2. ブライダル業界の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	ブライダル業界に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で、接客サービス業に携わるサービスマナーを身に付ける事ができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	ガイダンス	この授業で学ぶ内容について						
第2回	結婚の定義について	BIAテキストより：法的意義・婚姻の要件・結婚状況について						
第3回	日本の結婚式の歴史について	BIAテキストより：日本の結婚式の歴史・宗教と結婚式・風習やいわれ（六輝）						
第4回	挙式の種類	挙式の様々なスタイル						
第5回	結婚式の用語	六輝、忌み言葉、通常使用される業界での用語						
第6回	ブライダルのエリア特性	BIAテキストより：日本各地域ごとの特性について学ぶ						
第7回	立ち居振る舞いについて	必要なスキルとビジネスシチュエーションでの対応						
第8回	京都・滋賀エリアの婚事情	京・滋ならではの婚スタイル～結納・顔合わせ・和婚～						
第9回	京都・滋賀エリアの婚事情	京・滋ならではの婚スタイル～結納・顔合わせ・和婚～						
第10回	LGBTQウェディング①	セクシャルマイノリティの基礎知識と同性婚の現状						
第11回	LGBTQウェディング②	セクシャルマイノリティの基礎知識と同性婚の現状						
第12回	マタニティウェディング①	女性の心身のしくみ、マタニティブライダル商品など						
第13回	マタニティウェディング②	女性の心身のしくみ、マタニティブライダル商品など						
第14回	ブライダルをとりまく、様々なビジネス	付帯ビジネス、パートナービジネスを知る						
第15回	期末試験	1から14までの回で学んだ内容から						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	杉山 美帆子			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/sugiyama/			

科目名	現代ホテル理論			単位数	1	科目コード		
授業形態	講義			対象学生	1年生	開設期	半期	
区分	必修			開設時期	前期	教員実務経験対象		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	ホテルをビジネスモデルとして、運営・経営の仕組みや活動を学びます。講義では、実際のホテルの活動を中心にホテルの社会的役割や、ホテルビジネスを構成する経営の仕組みを、学ぶ。							
授業の一般目標	ホテルのマネジメントに必要な、ホテルの経営形態や、危機管理、マーケティング、メンテナンス、施設管理、人材管理などの知識の習得。ホテル・旅館・レストランの起業、経営のための不動産事業の側面を学び、所有・運営・経営の分離など、外資系ホテルの経営と日経ホテルの経営を比較・分析し、これからのホテル経営の在り方を学ぶ。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	ホテルについて説明する事が出来る							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	ホテル以外の業界もマーケティングする事で他業界とホテル業界の違いを理解する事が出来る							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事が出来る							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でホテルについて主体的に考える事が出来る							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題		授 業 内 容				備 考	
第1回	ガイダンス		オープニング、授業計画の説明、ホテルについてのディスカッション					
第2回	ホテルの起源		ホテルの語源、定義などを学ぶ					
第3回	ホテルの分類		ホテルを経営形態、資本形態、機能形態など、それぞれに分類できる事を学ぶ。					
第4回	ホテル発達の歴史		宿泊施設の始まり、欧米のホテル、外資系高級ホテル、日本のホテルの歴史を知る					
第5回	ホテル産業の特徴		社会的役割やホテル商品の特殊性について学ぶ					
第6回	ホテルスタッフに求められる能力について		身だしなみや動作のみならず、現場で働く上で必要な知識や、求められる資質について理解する					
第7回	代表的なセクションについて		ホテルを構成する各セクションの名称や役割の基礎を学ぶ					
第8回	ホテルの社会的責任について		防災、アレルギーや食中毒への対応、高齢の方などへの配慮の大切さを理解する。					
第9回	これからのホテル産業について		ホテルに求められる事は何かをディスカッション					
第10回	総復習小テスト		2回～9回の内容の総復習の小テストと解説					
第11回	理想のホテルを作ろう(事業計画)		自分達が作ってみたいホテルの理念の決める					
第12回	理想のホテルを作ろう(事業計画)		理念に基づいた、事業形態を考える					
第13回	理想のホテルを作ろう(事業計画)		販売商品や特徴、外観デザイン等、より具体的にイメージする					
第14回	理想のホテルを作ろう(事業計画)		プレゼンシートの作成を行う					
第15回	期末試験		事業計画の発表					
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点(小テスト・発表レポート)70%、授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験								S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎	○			30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○				10	B(2):70点以上
授業態度			○	○			20	C(1):60点以上
発表・作品	◎	○	◎	○			40	D:59点未満 未修得
演習								評価なし
出席			○					失格条件
担当教員	喜多村 公美			実務経験紹介	https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kitamura/			

2020年度 シラバス

科目名	ホテルビジネス実務		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	1年次	開設期			
区分	必修		開設時期	後期	教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	ホテルの各セクションごとの業務内容、用語などの基礎知識を習得し、ホテルでのお客様への具体的な対応例からホスピタリティの精神を学ぶ。							
授業の一般目標	ホテルならではのホスピタリティの精神を、プライダlblプランナーとしての接客に活かす。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	ホテルについて説明する事が出来る							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	ホテル業界ならではのホスピタリティをプライダlblのお客様にも応用する事ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でホテルについて主体的に考える事ができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	ホテルの各セクションごとの業務内容、ホテル用語を習得している。							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	オリエンテーション	この授業で学ぶ内容について。現代ホテル理論復習						
第2回	宿泊部門の業務	部屋の構造によるタイプの分類・用語を知る						
第3回		宿泊部門における職種とその役割からゲスト対応を学ぶ						
第4回		フィットネス、スパなど宿泊部門ならではのセクションや役割を知る 婚礼部門との関わりについて知る。				確認小テスト		
第5回	料飲部門の業務	ホテルレストランの種類や、ゲスト対応を学ぶ。						
第6回		料飲部ならではの職種・集客人数の規模について知る 婚礼部門との関わりについて知る						
第7回	宴会部門の業務	宴会部門の業務内容、集客人数の規模について理解する						
第8回		宴会部門の職種、それぞれの役割について学ぶ						
第9回	調理部門の業務	調理部ならではの職種やそれぞれの役割を理解する。						
第10回		婚礼料理について(特別メニュー作成など、ゲストニーズへの対応を学ぶ)				確認小テスト		
第11回	婚礼部門のホテルにおける役割	ホテルにおける婚礼部門の重要性を知る。						
第12回		各セクションとの関わりについて学ぶ						
第13回	総復習	宿泊部門・料飲部門について						
第14回		婚礼部門・宴会、調理部門について						
第15回	期末テスト	1回~14回の内容からテスト実施						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○			○		50	秀 (S):100点~90点
小テスト	◎	○	◎		○		20	優 (A):89点~80点
宿題授業外レポート			○	◎			10	良 (B):79点~70点
授業態度		◎	○				20	可 (D):69点~60点
発表・作品							評価なし	不可 (E):59点以下
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	喜多村 公美			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kitamura/			

科目名	ブライダルコスチュームⅠ		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	1年生	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	前期	教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	人生で最も華やかで輝かしい儀式「結婚式」「披露宴」のための婚礼衣裳。花嫁がその運命の1着に出会われるまでのサポートをするのがコスチュームアドバイザーやスタイリストです。本授業では、衣裳の歴史・ドレスコード・シルエットの名称とその似合う体型を学び、ドレスコードなどの扱い方を習得します。洋装(ウェディングドレスやカラードレス)・アクセサリー・ベールなどの小物合わせ、和装についてトータルで学習し、ブライダルの現場で即戦力とされることを目指します。							
授業の一般目標	①衣裳・小物の種類を理解する。 ②ドレスの着せ方を学び、フィッティングができる。 ③補正の方法やドレスメンテナンスや、扱い方を知る。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	衣裳の歴史、アイテム、シルエット、小物の名称を理解できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	ドレスを美しく着せるためのパニエやファンデーションを使用する事が理解できる。シルエットに添った小物を選らぶ事ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	近年の流行に関心を持ち、新郎新婦の衣裳小物、スタイリングを意識できる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	ドレスフィッティングの出来栄が美しいか否かの判断ができる。適切な取り扱いができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	お客様へ行うように丁寧に美しくドレス着付を行える。							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	ガイダンス・コスチュームの概要	ブライダルコスチュームとは、コスチュームアドバイザーとは						
第2回	ウェディングドレスの基礎①	ドレス関連用語、デザインの特徴、アクセサリー、小物の種類など						
第3回	ウェディングドレスの基礎②	ドレスのマテリアル(布地・素材)、サイズ展開、採寸、小物合わせ						
第4回	ウェディングドレスの基礎③	ドレス・ベール・パニエの扱い方やディスプレイの仕方						
第5回	メンズコーディネート	ゲストスピーカーをお招きして 新郎衣裳の基礎知識、コーディネート例				レポート		
第6回	婚礼衣裳のトレンド	ゲストスピーカーをお招きして 近年の婚礼衣裳における傾向を知る				レポート		
第7回	フィッティング① 基礎編	ドレスの着せ方、選び方、ドレス下着の重要性など				演習/トルソー使用		
第8回	フィッティング② 応用編	"、お客様のサイズに合わないドレスの着せ方				演習/トルソー使用		
第9回	補正のテクニック	フィッティングの際に必要な補正方法を学ぶ				トルソー使用		
第10回	花嫁スタイリングの実践	ドレスショップでの接客や提案の仕方、ドレス着付の実践				演習		
第11回	コーディネートルールプレイング	ドレスショップでの接客を実践 試着をコスチュームアドバイザー役・花嫁役でロールプレイング				演習		
第12回	和装コーディネート①	和装婚礼の衣裳に関する基礎知識・コーディネートの仕方						
第13回	和装コーディネート②	列席者衣裳の種類やしきたり、マナーを学ぶ						
第14回	晴れの日の所作レッスン	新郎新婦の立ち居振る舞い、新郎によるエスコート方法など				演習		
第15回	前期試験	前期の振り返り						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	◎	○		○		50%	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	○				10	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		○	○		○		10	B(2):70点以上
授業態度			○	○			20%	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習	○	○	○		○		10	
出席			○					
担当教員	北 昌幸(きた まさこ)			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kita/			

科目名	ブライダルコスチュームⅡ	単位数	1	科目コード				
授業形態	講義	対象学生	1年生	開設期	半期			
区分	必修	開設時期	後期	教員実務経験対象				
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	主にドレススタイリスト検定取得を目指した対策授業を行う。また、前期で習得した技術・接客を活かしてお客様のドレス選びに必要な事前準備、ヒアリング内容、小物類の取り扱いなど、より実践的な対応を学ぶ。							
授業の一般目標	①ドレススタイリスト検定取得を目指す。 ②実践的なお衣裳担当の接客を学ぶ。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	衣裳の歴史、アイテム、シルエット、小物の名称を理解できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	ドレスを美しく着せるためのパニエやファンデーションを使用する事が理解できる。シルエットに添った小物を選らぶ事ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	近年の流行に関心を持ち、新郎新婦の衣裳小物、スタイリングを意識できる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	ドレスフィッティングの出来栄が美しいか否かの判断ができる。適切な取り扱いができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	お客様へ行うように丁寧に美しくドレス着付を行える。ドレススタイリスト検定を取得できる。							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容			備 考			
第1回	衣裳店のビジネス市場	衣裳店のビジネス市場、お客様の動向を知る						
第2回	ドレス構造とデザイン	ドレス構造とデザイン、ドレスに合わせる小物						
第3回	サイズ展開について	ドレスのサイズ展開と採寸、補正、体験によりスタイリング効果						
第4回	男性の洋装	男性洋装とサイズ展開。実践にむけてのタキシード提案方法を学ぶ						
第5回	和装について	新郎新婦の和装衣裳、列席者衣裳について						
第6回	ドレスのシルエットについて	ドレスシルエット、素材、スタイリングなどの復習。検定対策						
第7回	検定対策中間テスト	ドレススタイリスト検定の過去問より、中間テストを行う。						
第8回	ドレスの提案方法について	ドレス提案に関する再復習、検定の過去問題より対策						
第9回	論述問題について	検定で出題される、論述問題の傾向を学ぶ						
第10回	ブライダルパーティの衣裳	欧米におけるブライダルパーティについて、衣裳店実務について学ぶ。						
第11回	ドレススタイリスト検定対策	総復習を行う。						
第12回	ドレススタイリスト検定試験実施	ドレススタイリスト検定試験実施						
第13回	ドレススタイリスト検定対策	ドレススタイリスト検定復習と答合わせ						
第14回	期末テスト対策	期末テスト範囲に関する復習						
第15回	期末テスト	期末テスト、会場に合うドレスと小物のプレゼン						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○	◎				50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	○				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート			○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○		◎		10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	北 昌幸(きた まさこ)			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kita/			

2020年度 シラバス

科目名	ブライダルコーディネーター技能検定 I		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義	対象学生	1年次	開設期	半期			
区分	必修	開設時期	前期	教員実務経験対象				
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	BIA検定対策授業。ブライダルコーディネーター検定3級取得の対策を通し、ブライダル業界へ従事する為の基礎知識を学ぶ。							
授業の一般目標	日本のブライダル業界に必要な基礎知識、及びブライダルコーディネーター業務について学ぶ							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	日本のブライダルの歴史、ブライダルビジネスの現状が把握できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	過去のBIA検定問題に出題されているブライダルの基礎知識を間違いなく選択することができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	ブライダルに関する関心を広げ、各ブライダル業種や関連業種について調べ、説明する事ができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でブライダルについて主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	前期で学んだ範囲のBIA検定過去問題を解くことができる							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	オリエンテーション	検定の趣旨・特徴・受験の手続きなど案内						
第2回	Lesson 2 ブライダルビジネス	ブライダルビジネスと呼ばれる業種を学ぶ・市場の推移を知る						
第3回	Lesson 2 ブライダル業種	結婚式会場・披露宴会場・その他ブライダルビジネスについて						
第4回	Lesson 2 ブライダル業界の1年	繁忙期・閑散期・集客のシステムについて						
第5回	復習テスト	BIA検定過去問も含めた復習小テストの実施及び解説						
第6回	Lesson3 ブライダルの基礎	見合い・結納について・顔合わせについて						
第7回	Lesson3 ブライダルの基礎	新郎新婦の結婚までのスケジュール。検討必要事項及び時期を学ぶ。						
第8回	Lesson3 ブライダルの基礎	様々な挙式①：キリスト教式・シビルマリッジ						
第9回	Lesson3 ブライダルの基礎	様々な挙式①：神前式・仏前式						
第10回	復習テスト	BIA検定過去問も含めた復習小テストの実施及び解説						
第11回	Lesson3 ブライダルの基礎	披露宴～二次会、海外ウェディング、新婚旅行について						
第12回	Lesson 4 コーディネーター業務	ブライダルセールスの特徴(商品特徴)、セールスと施行、新規から成約までの流れを学ぶ						
第13回	Lesson1～4までの総復習		ブライダル概論及びBIA検定の授業範囲の総復習					
第14回	Lesson1～4までの総復習		ブライダル概論及びBIA検定の授業範囲の総復習					
第15回	期末テスト		1回～14回の内容で期末テスト実施					
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○	○		○		50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎		○		20	A(3):80点以上
宿題授業外レポート			○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			◎	○			20	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	喜多村 公美		実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kitamura/				

科目名	ブライダルコーディネーター技能検定Ⅱ		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	1年次	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	後期	教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	BIA検定対策授業。ブライダルコーディネーター検定3級取得の対策を通し、ブライダル業界へ従事する為の基礎知識を学ぶ。							
授業の一般目標	日本のブライダル業界に必要な基礎知識、及びブライダルコーディネーター業務について学ぶ							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	ブライダルコーディネーターの業務内容を説明する事ができる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	BIA検定問題の基礎知識を間違いなく選択することができ、得た知識を他の実技授業で活かす事が出来る。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	ブライダルに関する関心を広げ、各ブライダル業種や関連業種について調べ、説明する事ができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でブライダルについて主体的に考える事ができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	BIA検定3級を取得できる							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	オリエンテーション	検定試験に関する詳細説明・前期復習・後期授業範囲について学習する						
第2回	Lesson5 打合せ業務	成約から披露宴本番までの打合せの流れについて学習する						
第3回	Lesson6・Lesson8 ブライダルアイテムの選定・当日業務	会場コーディネート・テーブルプラン・テーブルセッティングについて理解する						
第4回	Lesson6・Lesson7 ブライダルアイテムの選択・手配業務	ペーパーアイテム(招待状・席札など)について発送時期や基本ルールを学習する						
第5回	復習テスト	BIA検定過去問も含めた復習テストの実施及び解説						
第6回	Lesson6 ブライダルアイテムの選択	婚礼料理、飲み物、ウェディングケーキについて学習する						
第7回	Lesson6・Lesson8 ブライダルアイテムの選択・当日業務	披露宴の進行、司会や音響の役割、各種演出について理解する。						
第8回	Lesson6・Lesson8 ブライダルアイテムの選択・当日業務	披露宴の進行、司会や音響の役割、各種演出について理解する。						
第9回	復習テスト	BIA検定過去問も含めた復習テストの実施及び解説						
第10回	Lesson7 手配業務	引出物・引菓子・写真撮影や映像素材の種類などについて学習する						
第11回	Lesson7 手配業務	引出物・引菓子・写真撮影や映像素材の種類などについて学習する						
第12回	BIA検定対策集中授業	過去問題を繰り返し行い、解説。問題対策を行う。						
第13回	BIA検定対策集中授業	過去問題を繰り返し行い、解説。問題対策を行う。						
第14回	総復習	コーディネーター業務の総復習を行い、期末テスト対策を実施。						
第15回	期末テスト	前後期授業で学んだ内容で実施						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○	○		○		50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎		○		20	A(3):80点以上
宿題授業外レポート			○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			◎	○			20	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	喜多村 公美		実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kitamura/				

科目名	全米ブライダルプランナー検定 I			単位数	1	科目コード		
授業形態	講義			対象学生	1年次	開設期	半期	
区分	必修			開設時期	前期	教員実務経験対象		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	主に全米ブライダルプランナー検定2級取得を目的とした対策授業。 この授業で使用する教材から日本のブライダル業界の変遷も理解する。また、現在行われている日本のブライダルでの進行や演出の多くは、欧米のブライダルの流れを受けている事を理解し、それぞれの演出や進行が持つ歴史や意味についての知識を広げる。							
授業の一般目標	ブライダル業界で必要とされる一般的な知識を習得し、9月に実施される全米ブライダルプランナー検定の2級合格を目指す。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. ブライダルの歴史、欧米と日本の違いについて説明できる。 2. ブライダル業界の各領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた進行や演出を参考に、模擬挙式やリアルウェディングの進行を考える事ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	欧米で行われている演出や進行を実践に活かす事ができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でブライダルについて主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	全米ブライダルプランナー検定2級を取得できる。							
授業計画(全体)	基本的な知識を修得し応用に発展する							
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	オリエンテーション	検定試験概要説明、授業の進め方について説明。 アメリカンウェディングとは宗教・人種などの特徴について						
第2回	欧米編	第4章本番 (聖職者・ブライダルパーティ、リハーサルウェディングにつ						
第3回		3つの宗教について 第5章 本番レセプションについて						
第4回		第7章 宗教ウェディングについて 基本的な考え方としきたり						
第5回		宗教的な挙式 プロテスタント・ローマカトリック・ユダヤ・非宗教						
第6回		英語での名称を覚える。ディストネーションウェディングやダンス・食事について・総復習を行う						
第7回	日本編	日本のブライダルの変遷を学ぶ						
第8回		ブライダルに関わる日本のビジネスについて						
第9回		六輝・熨斗・結納など、日本特有のしきたりについての総復習						
第10回	総まとめ	欧米ならではの特徴を総復習(ブライダルパーティ・宗教挙式など)						
第11回		日本のブライダルビジネスについて(ゼクシイトレンド調査の動向を知る。)						
第12回	直前集中授業	過去の問題から傾向と対策を図る						
第13回								
第14回	直前対策授業	ピンスポットで重点的に復習し検定試験に備える						
第15回	期末テスト実施	欧米と日本のテキストより出題						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○			○		50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	喜多村 公美			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kitamura/			

科目名	全米ブライダルプランナー検定Ⅱ		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義	対象学生	1年次	開設期	半期			
区分	必修	開設時期	後期	教員実務経験対象				
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	主に全米ブライダルプランナー検定1級取得を目的とした対策授業。 前期に学習した内容を復習し、1級の範囲となるテキスト後半の対策及び、プランナーになった場合を想定した論述形式の問題への対策を行う。							
授業の一般目標	ブライダルプランナーとしての対応力を学び、3月実施の全米ブライダルプランナー検定1級取得を目指す。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. ブライダルの歴史、欧米と日本の違いについて説明できる。 2. ブライダル業界の各領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた進行や演出を参考に、さまざまなパターンのゲストへの提案を考案できる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	欧米で行われている演出や進行を実践に活かす事ができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でブライダルについて主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	全米ブライダルプランナー検定1級を取得できる。論文でプランナーを想定したゲストへの提案ができる。							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容			備 考			
第1回	オリエンテーション	検定試験概要説明、授業の進め方について説明。						
第2回	日本版①	1年時に学習した内容の日本版の総復習を行う						
第3回	日本版②	1年時に学習した内容の日本版の総復習を行う						
第4回	日本版③	1年時に学習した内容の日本版の総復習を行う						
第5回	欧米編①	欧米版テキスト7章～12章を過去問題に添って学ぶ						
第6回	欧米編②	欧米版テキスト7章～12章を過去問題に添って学ぶ						
第7回	欧米編③	1年時に学習した内容の欧米版の総復習を行う						
第8回	欧米編④	1年時に学習した内容の欧米版の総復習を行う						
第9回	記述対策授業	記述問題に対して。いくつかのパターンを学び、プランナーとしての提案を論文にする						
第10回	記述対策授業	記述問題に対して。いくつかのパターンを学び、プランナーとしての提案を論文にする						
第11回	総まとめ	欧米ならではの特徴を総復習(ブライダルパーティ・宗教挙式など)						
第12回		日本のブライダルビジネスについて						
第13回	検定直前対策授業	全米ブライダルプランナー検定1級試験 直前対策授業						
第14回								
第15回	期末テスト実施							
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○			○		50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	喜多村 公美		実務経験紹介	https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kitamura/				

科目名	ビジネス基礎 I		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	1年次	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	前期	教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	会社とはどのような組織か、そこで行われている仕事とはどのような内容かを学ぶ。							
授業の一般目標	秘書検定3級(11月受験)の合格。ビジネスパーソンとしての最低限のマナーを身に付ける。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)	秘書検定実問題集3級							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	秘書検定3級合格の知識を習得							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	秘書業務を学んだうえで社会人としてどのように活用できるか判断できる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	ビジネススキルを理解した上で模擬挙式に活用する事が出来る							
<input type="checkbox"/> 態度の観点								
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	検定の概要	授業の進め方 検定概要の確認				秘書検定3級対策		
第2回	必要とされる資質 秘書の心構え 必要	秘書業務の心構え・身だしなみ・第一印象 心遣い、守秘義務、社内連絡、				秘書検定3級対策		
第3回	職務知識 秘書の役割と機能 職務	秘書の分類 心構え 定型業務				秘書検定3級対策		
第4回	一般知識 企業の基礎知識	企業の目的 会社の形態と会社の種類 組織と機能 経営管理				秘書検定3級対策		
第5回	企業の組織と活動	人事 労務 会計 財務 マーケティング				秘書検定3級対策		
第6回	社会常識	基礎用語 上位 s 機としての片仮名語				秘書検定3級対策		
第7回	人間関係と話し方	人間関係と話し方 人間関係の重要性 挨拶 話し方と人間関係				秘書検定3級対策		
第8回	話し方聞き方の応用	話し方聞き方の応用 情報伝達の仕方 報告の仕方				秘書検定3級対策		
第9回	電話応対	電話応対 電話のマナーと話し方の注意点				秘書検定3級対策		
第10回	接遇	接遇の心構え アポイント調整 受付マナー 案内マナー				秘書検定3級対策		
第11回	交際	慶事の知識とマナー 食事のマナー				秘書検定3級対策		
第12回	会議と秘書	会議の目的と種類 会議の種類				秘書検定3級対策		
第13回	ビジネス文書と秘書	社内文書の基礎知識 種類と形式 慣用表現 文書管理				秘書検定3級対策		
第14回	資料管理	ファイリングの基礎知識 名刺の整理 日程管理				秘書検定3級対策		
第15回	日程管理 オフィス管理	日程管理と予定表 予定表の作成				秘書検定3級対策		
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	岡澤 ひとみ			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/okazawa/			

科目名	ビジネス基礎Ⅱ		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	1年次	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	後期	教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	会社とはどのような組織か、そこで行われている仕事とはどのような内容かを学ぶ。							
授業の一般目標	秘書検定2級(1月受験)の合格。ビジネスパーソンとしての最低限のマナーを身に付ける。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)	秘書検定実問題集2級							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	秘書検定2級合格の知識を習得							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	秘書業務を学んだうえで社会人としてどのように活用できるか判断できる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	ビジネススキルを理解した上で模擬挙式に活用する事が出来る							
<input type="checkbox"/> 態度の観点								
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	3級試験範囲の復習	3級試験範囲の復習						
第2回	3級試験範囲の復習	3級試験範囲の復習						
第3回	模擬試験実施	過去問の実施						
第4回	必要とされる資質	秘書の心構え 秘書に必要な条件						
第5回	職務知識	秘書の役割と機能 秘書の職務						
第6回	一般知識 企業と経営	資本と経営 企業の組織形態 経営管理						
第7回	一般知識 企業の活動	人事労務 会計財務 手形小切手 税務 生産管理						
第8回	社会常識	情報処理とニューメディア 常識としての基礎用語略語カタカナ語						
第9回	マナー 接遇	人間関係と話し方・聞き方 基礎応用						
第10回	電話対応と接遇 交際	電話対応の基本 接遇用語の使い方 慶事の対応 パーティ等の知識						
第11回	会議と秘書	会議の知識 準備設営 会議中の秘書の仕事						
第12回	ビジネス文書の作成 文書の取り扱い	社内文書の種類と形式 社交文書 ビジネス文書の慣用語 メモの取り方						
第13回	文書 資料管理	ファイリングの基本 保管方法 名刺の整理 情報収集と管理						
第14回	日程管理とオフィス管理	予定表の種類と記入要項 事務用品の種類						
第15回	模擬試験の実施	秘書検定2級の過去問実施						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	岡澤 ひとみ		実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/okazawa/				

科目名	サービス接遇Ⅰ		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	1年次	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	前期	教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	ブライダル業界で働くにあたり必要な心構えと接客力を身につける、サービス接遇を通し、理解を深める。							
授業の一般目標	ブライダル業界で働く楽しさを新郎新婦のコーディネーターなどから感じ取り、それをサポートする接客力を習得する。就職活動や社会人にスムーズになれる言動を身につける。サービス接遇3級(6月受験)準1級(11月受験)2級合格(1月受験)を目標とする。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	オリエンテーション	授業の進め方の説明と検定要項の確認				3級試験対策		
第2回	サービススタッフの資質	必要とされる要件、従業要件が理解できる				3級試験対策		
第3回	専門知識	サービスの意義、機能、種類を理解する 商業用語、経済用語が理解できる				3級試験対策		
第4回	一般知識	社会常識、時事問題が理解できる				3級試験対策		
第5回	対人技能	一般的な人間関係や対人心理、マナーが理解できる				3級試験対策		
第6回	対人技能	接遇用語を理解し基本的な話し方ができる 提示説明の仕方が理解できる				3級試験対策		
第7回	実務技能	問題処理、環境整備、金品管理について理解できる				3級試験対策		
第8回	過去問題実施 模擬試験の実施	サービス接遇検定3級の過去問を実施				3級試験対策		
第9回	サービススタッフの資質	必要とされる要件、従業要件が備えており判断、表現ができる				2級試験対策		
第10回	専門知識	サービスの意義、機能、種類を理解する 商業用語、経済用語が理解できる				2級試験対策		
第11回	一般知識	社会常識があり、時事問題が理解できる				2級試験対策		
第12回	対人技能	一般的な人間関係や対人心理、マナーを理解し表現、実行することができる				2級試験対策		
第13回	対人技能	接遇用語を知っており接遇者としての話し方ができる 提示説明ができる				2級試験対策		
第14回	実務技能	問題処理、環境整備、金品管理について理解し、対処ができる				2級試験対策		
第15回	期末試験の実施	期末試験の実施				2級試験対策		
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	岡澤 ひとみ		実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/okazawa/				

科目名	サービス接遇Ⅱ		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	1年次	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	後期	教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	ブライダル業界で働くにあたり必要な心構えと接客力を身につける、サービス接遇を通し、理解を深める。							
授業の一般目標	ブライダル業界で働く楽しさを新郎新婦のコーディネーターなどから感じ取り、それをサポートする接客力を習得する。就職活動や社会人にスムーズになれる言動を身につける。サービス接遇3級(6月受験)、2級(1月受験)準1級(12月受験)を合格目標とする。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	オリエンテーション	授業の進め方の説明と検定要項の確認				準1級試験対策		
第2回	接客ロールプレイング	接客者としての基本言動(言葉使い、所作)ができる				準1級試験対策		
第3回	接客ロールプレイング	接客者としての基本言動(言葉使い、所作)ができる				準1級試験対策		
第4回	接客ロールプレイング	接客者としての基本応対ができる				準1級試験対策		
第5回	接客ロールプレイング	接客者としての基本応対ができる				準1級試験対策		
第6回	接客ロールプレイング	接客者としての基本応対ができる				準1級試験対策		
第7回	接客ロールプレイング	接客者としての基本応対ができる				準1級試験対策		
第8回	接客ロールプレイング	模擬面接実施				準1級試験対策		
第9回	接客ロールプレイング	模擬面接実施				準1級試験対策		
第10回	2級対策授業	2級試験範囲復習				2級試験対策		
第11回	2級対策授業	2級試験範囲復習				2級試験対策		
第12回	模擬試験	検定試験直前対策、2級合格のポイントを押さえる				2級試験対策		
第13回	模擬試験	検定試験直前対策、2級合格のポイントを押さえる				2級試験対策		
第14回	サービス接遇検定答え合わせ	2級試験範囲復習						
第15回	期末試験実施	期末試験実施						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	岡澤 ひとみ			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/okazawa/			

科目名	ブライダルアロマ			単位数	1	科目コード		
授業形態	実習			対象学生	2年次	開設期	半期	
区分	必修			開設時期	後期	教員実務経験対象		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	ブライダルに重要な場の空気・雰囲気をつかみ印象付ける事ができる。							
授業の一般目標	アロマの香りと効果を体系的に理解し、活用できる。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	アロマに関する関心を広げ、問題意識を高める事ができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でアロマについて主体的に考える事ができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	ガイダンス	ブライダルにおけるアロマの効用						
第2回	ブライダルアロマの歴史	歴史とその背景						
第3回	ブライダルアロマの基礎知識	取り扱い、保存方法 使用注意						
第4回	アロマが人に与える影響とその扱い	影響を知り、アロマの特性を知る						
第5回	アロマの効用について	ローズマリー、ミントなど						
第6回	アロマの効用について	イランイラン、ジャスミンなど						
第7回	アロマの効用について	ローズ、タイムなど						
第8回	アロマの効用について	ラベンダー、グレープフルーツなど						
第9回	アロマとブライダルサロン	サロンでのアロマの効用、使い方						
第10回	アロマとブライダルサロン	香りが与えるお客様への影響を知り、成約を伸ばす						
第11回	アロマとブライズルーム	当日の花嫁をサポートするアロマとは						
第12回	アロマとブライズルーム	当日の花嫁をサポートするアロマとは						
第13回	アロマとマレージブルー	ウエディングの心配を紛らわせるアロマ						
第14回	アロマ まとめ	まとめ						
第15回	アロマ期末試験	期末試験						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	杉山 美帆子			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/sugiyama/			

科目名	メイクセラピー		単位数	2	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	1年次	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	後期	教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	花嫁様の披露宴での心理的なストレスを和らげるメイクセラピーの技術を身につける。							
授業の一般目標	メイクセラピスト2級合格を目指し、セラピストの知識として花嫁様に傾聴・アドバイスができる							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	メイクセラピーに関する関心を広げ、問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でメイクセラピーについて主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1週	メイクセラピーの意味	オリエンテーション						
第2週	メイクセラピーにおける顔の成り立ち	円心・求心						
第3週	メイクセラピーにおける顔の成り立ち	円心・求心が他人から見た時の印象						
第4週	自分の顔分析	相モデルにて顔の分析						
第5週	アイシャドーなどの使い方	円心・求心をどのように矯正するか						
第6週	カラーが人に与える印象	色の効果や光の効果						
第7週	カラーの効果	カラーが人に与える印象、その使い方						
第8週	印象分析	印象をコントロールし自分のコンプレックスを克服する						
第9週	傾聴の意味	クライアントの話の聴き方。その動作や実際の動き						
第10週	心理学の基本的な知識	罪悪感など人間の心理を学び、クライアントの軽重ができる						
第11週	リップやチーク、アイシャドウの色の持つ効果	リップ・アイシャドー・チークなど色の使い方で印象管理						
第12週	メイク実習	メイクセラピーの実習(メイク)						
第13週	メイク実習	メイクセラピーの実習(メイク)						
第14週	試験直前模試	筆記とメイク実習						
第15週	期末試験	全体の期末試験						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	福本 真弓			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/okazawa/			